

看護師を目指す留学生のための ライティング教材の開発とその活用

Development of writing materials for international nursing students' education

山元 一 晃¹

Kazuaki YAMAMOTO

浅川 翔 子²

Shoko ASAKAWA

加藤 林太郎³

Rintaro KATO

要旨：

筆者は、看護師を目指す留学生のためのライティング教材の開発を行った。本稿は、開発に至った背景、開発の過程、その内容、想定される使用方法などについて述べる。まず、開発に至った背景については、看護学生・看護師向けのライティング教材を分析し、留学生の日本語教育にそのまま応用することは難しいことを明らかにした。その後、開発の経緯や内容について述べた。看護師と日本語教師が共同で開発にあたり、看護学科で用いられている課題を分析し、その上で必要なものを選んだ。さらに、実際のテキストを示しながら、本書の特徴を述べた。看護実習の流れにそった内容になっており、大きく「実習前」「実習中」「実習後」に分け、形式に関する説明を加え、電子カルテなど実際に看護実習で情報を得るための資源を入れ、ステップアップできる練習問題を豊富に用意した。最後に、想定される使用法や、今後の課題を述べた。

キーワード：看護師 実習記録 看護記録 教材開発 ライティング

1. 教材開発の背景と目的

看護系大学で学ぶ留学生は、2018年度において、280人いることが分かっている（日本私立看護系大学協会 2019）。看護師不足が叫ばれる中、今後、この数が増加していくことは想像に難くない。

看護学科等では、初年次から実習があるのが一般的である。その課題として求められるものには、多様な様式に記入する記録もあり、一般的な論述式レポートの提出だけではない。これらの様式は、項目ごとに箇条書きで書いた方がよい箇所、簡潔な文章で書く箇所、患者等の言葉をそのまま書く箇所などがあり、様式や項目によって多様な形式での記入を求められる（山元・浅川 2021）。そのため、

¹ 金城学院大学文学部

² 慶應義塾大学看護医療学部

³ 国際医療福祉大学総合教育センター

第二言語として日本語を学習した留学生にとって、障壁となることがある（加藤ほか2021）。一方、国家試験に合格し、看護の業務に従事している看護師であっても看護記録等を書くことが困難だと感じているようである。たとえば、国際厚生事業団（2013）は看護記録を「書く」ことについて、経済連携協定（EPA）により来日し看護師として職務に従事している者の34.1%が「できるときもある」、4.5%が「できない」と回答していると報告している。したがって、国家試験に合格したからといって看護記録が書けるとは限らず、大学や専門学校卒業までの間に看護記録の書き方を体系的に学んでおくことは極めて重要である。

EPAにより来日した看護師候補者のための日本語教育の知見は増えつつあり、海外産業人材育成協会（2011）は、病院内でのコミュニケーションや記録の記入を含む総合的な日本語教材となっている。しかし、この教材での様式は、実務を想定したものであると考えられるため、看護を学ぶ留学生にとって必要十分な内容になっているとは言い難い。

そこで、執筆者らは、看護学生のためのライティングテキストの調査および独自教材の開発を試みた。まず、看護学部や専門学校で学ぶ学生等を対象とした実習記録に関するテキストを分析し、留学生の授業や自習に活用できるかを検証した。その後、それらに不足していると考えられる要素を含む教材開発を

行った。

2. 看護学生向け教材の分析

まず、看護学生および看護師向けに出版されている教材にはどのようなものがあるのかをリストアップし、その現状と課題を整理し、留学生のためのライティング教材として活用可能かを検討した。

2.1 方法

「国会図書館サーチ」を使用し「国立国会図書館」および「公共図書館蔵書」の蔵書から「看護」および「記録」または「看護」および「ライティング」をタイトルに含む書籍で2008年以降2017年内までに出版されたものをリストアップした²⁾。その上で、タイトルから、学生や看護師が実習や業務のために書く「記録」とは異なると考えられるものを除外した。除外の作業は、看護教員が主導し、日本語教師との協議の上行った。さらに、出版社は異なるが現在流通している書籍の旧版だと考えられるもの、調査時（2018年6月）に入手困難だったもの、用語辞典を除外した。また、実際のテキストにあたり、学部での学習には不適切だと思われるもの（「監査」や「電子カルテの導入の仕方や使い方」を中心としたものや看護教員を対象としたものなど）を除外し、15点に絞った。

同時に、看護教育3基準、日本語教育3基準、構成3基準の9基準を定めた。その後、

表1 各領域ごとの評価基準

看護教育	日本語教育	構成
アセスメントの枠組みが提示されている	形式の選択についての説明がある	記録の意味や目的について記載がある
関連図についての記述がある	形式の作り方や使い方の説明がある	専門用語の説明がある
病態や領域毎の詳細な記述がある	語句の選択の仕方についての説明がある。	良い例と悪い例示の提示がされている

それぞれのテキストが各基準を満たしているかを判定した。9基準は、表1の通りである。

看護教育については、「看護演習／実習で看護過程を展開し、課題を作成する上で必要な知識が得られるか」、日本語教育については「それぞれの課題にふさわしい文章表現の知識／技術が得られるか」、構成については「看護教育・日本語教育の目標を達成するために効果的な構成となっているか」という観点を考慮の上、評価基準を設定した。

看護教育については、看護教員1名が判定し、日本語教育については日本語教員2名が判定、構成については3名で協議し判定した。

さらに、看護3基準、日本語教育3基準について、後日3者で改めて判定について協議をした。

2.2 結果

2.1の手順により、表2の15点に絞り、それぞれ評価を行った。

表2に示した書籍について評価を行った結果を表3に示す。上記9基準を全て満たしている教材は存在せず、8基準を満たしているものが5の1点（石川 2017）あり、これは日本語教育の3基準全てを満たしていた。

表3から分かるように、日本語教育3基準

表2 評価対象とした教材

番号	編著者	年	タイトル	出版社
1	古橋洋子	2013	NEW 実践！ナースのための看護記録	学研メディカル秀潤社
2	福田美和子	2015	看護学生のための実習記録の書き方	サイオ出版
3	江川隆子, 笠岡和子	2014	かみくだき看護診断過程：関連図でよくわかる病態・看護診断・看護記録	日経研出版
4	川上千英子 編著, 山本隆一, 鈴木真, 入江真行, 阿南誠 著	2012	看護実践を証明するフォーカスチャーティング：説明責任を果たせる患者記録	医歯薬出版
5	石川ふみよ	2017	実習記録・看護計画の解体新書	学研メディカル秀潤社
6	百瀬千尋	2016	看護学生のためのレポート&実習記録の書き方	メヂカルフレンド社
7	横井和美 監修	2017	看護過程の展開に沿った実習記録の書き方とポイント	サイオ出版
8	岡村絹代 著	2015	高齢者施設の看護記録見える化する書き方：疾患・症状・状況別：観察・アセスメントと記載のポイント！	日経研出版
9	任和子	2015	領域別看護過程展開ガイド：成人 老年 小児 母性 精神：実習記録の書き方がわかる！	照林社
10	任和子	2015	実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド：ヘンダーソンゴードン NANDA-I オレム ロイ	照林社
11	石綿啓子, 鈴木明美, 遠藤恭子 著	2017	看護が見える患者に見せる看護記録を書こう：倫理面に配慮した表現と的確な SOAP 記載の要点	日経研出版
12	高谷修	2012	看護師に役立つレポート・論文の書き方	金芳堂
13	江原勝幸	2015	看護学生のためのレポート書き方教室	照林社
14	水戸美津子	2014	ナースのためのレポートの書き方：看護のプロが教える「伝わる文章」の作法	中央法規出版
15	高谷修	2017	看護学生のためのレポート・論文の書き方：正しく学ぼう「書く基本」「文章の組み立て」	金芳堂

表3 教材の評価

番号	看護教育			日本語教育			構成		
	アセスメントの枠組み	関連図	病態や領域毎の記載	意味・目的	専門用語の説明	良い例と悪い例	形式の選択についての記述	形式の使い方	語句の選択
1				○		○			○
2	○	○		○		○			
3	○	○	○						
4					○	○			○
5	○	○		○	○	○	○	○	○
6			○	○		○	○	○	○
7	○		○		○	○	○		
8			○	○		○			
9	○	○	○	○					
10	○		○	○		○			
11				○		○			
12							○	○	○
13					○	○	○	○	○
14						○	○	○	○
15							○	○	○

を満たしている石川（2017）は、看護教育3基準の全てを満たしてはならず、一方で、看護教育3基準を満たしている3（江川・笠岡2014）、9（任2015）は、日本語教育3基準のうち、それぞれ1基準、2基準のみしか満たしていない。このことから、表3に示した教材は、日本語教育や看護教育の場面で使用する場合には、補足や注意が必要であるということが分かる。また、日本語教育の3基準を満たしていた石川（2017）においても、非母語話者ゆえに予想される間違いや困難への言及や配慮がない。また、言語面に焦点をあてた練習問題（箇条書きの書き方など）がなく、上級学習者であっても、教師のサポートなく使用することは難しいといえる。

このことから、看護教育、日本語教育の双方の観点から、看護学科での学びに必要なライティング能力を養成できるテキストが必要だと考えられる。

3. 教材開発の過程と内容

2節での分析を踏まえ、筆者らは教材の開発を行った。先述したように、「実習を含む大学等での学びに即していること」および「専門分野における非母語話者を対象とした日本語教育に有用であること」を考慮した。日本語教師および看護学科の教員が定期的に打ち合わせを行い教材開発にあたった。

まず、執筆にあたり、章立てや各課の内容を決めた。開発者らの開発当初の所属大学の看護学科において課されるレポート・実習記録等を整理した。そこから、看護教員の視点で重要であると考えられる課題および日本語教員の視点で留学生にとって難しいと考えられる課題を抽出した。また、基本的な編集方針として、学生の実習の過程に即した順序で提示し、実習前にそれを疑似体験できるようにした。開発者による協議の結果、以下の内容とした。

第1課では、実習の前に自分自身の看護観

表4 テキストの構成と対象となる課題・情報源

	課のタイトル	看護教育において 対応する課題	情報源
【第1部】 実習前	・第1課 私の理想の看護師	入学初期のレポート	なし
	・第2課 施設情報	施設情報シート	施設のホームページ
	・第3課 行動計画	行動計画シート前半	友だちとの会話
【第2部】 実習中	・第4課 患者情報の記録	患者情報整理シート	患者プロフィール, 電子カルテ, インタビュー
	・第5課 1日の振り返り	行動計画シート後半	友だちとの会話
	・第6課 看護展開	アセスメントシート	患者プロフィール, 電子カルテ, インタビュー
	・第7課 看護計画	看護展開シート	アセスメントシート
	・第8課 先生とのメール	なし	なし
【第3部】 実習後	・第9課 まとめのレポート	実習後に提出するレポート	これまでの成果物

を確認するためのレポートを書く。看護観は、「自分の体験を整理分析し理論化し先駆者の理論と関連付けて書いたもの（高谷 2017）」であるという。そのため、主観的な内容と、客観的な内容を織り交ぜて書く必要がある。また第2課以降は、実習中や実習前後に書く様々な文書（行動計画、施設情報シート、看護記録等）への記入を中心としている。看護観を書くレポートや、実習記録への記入は一般的な留学生向けアカデミック・ライティングの教材にはなく、本教材の大きな特徴である。また、特に多種多様な項目についての記入を含む点は、海外産業人材育成協会（2011）のような看護師候補生向け教材にもない特徴である。

実習の流れに沿った課の構成にし、実習を疑似体験できるようにした点も特徴である。まず、第2課、第3課では、実習に行く前の事前準備として、施設情報シートや行動計画シートに記入する。第4課では、実習先で情報収集をし、シートに記入する。第5課では、友だちとの電話での会話を見ながら実習での行動を振り返り、その日の学びを記入する。第6課、第7課では、患者の病状や生活などをアセスメントし、適切な看護を計画する。

第8課で、先生とのメールのやりとりについて学び、第9課で、実習で学んだことをまとめるレポートを執筆する。

また、情報を集めるための資源として、医療機関のホームページ、友だちや指導者との会話やメッセージアプリケーションでのやりとり、電子カルテ（図1）など様々なものを用意し、それを元に練習ができるように工夫した。

執筆は以下の手順で行った。まず、看護学科教員Aが対象となる各課の課題の見本を作成した。後日、Aおよび日本語教師B、Cでミーティングを行い、記録独特の形式や構成など、それぞれの課で取り上げる項目を整理した。その後、Bがその見本について、上記の項目を中心に、日本語学習者が犯しがちだと考えられる誤りを入れリライトした。これは、悪い見本を批判的に読むことで、自分が書く際にも批判的に書けるようにとの狙いである。その上で、Cが、それぞれの項目について、改善点および改善の方法を詳しく解説する文章を執筆した。Bが、各改善点について、それぞれ、練習問題を付した。最後に、全体の手本を示し、全部または大半が未記入の様式に記入する練習を加えた。

患者ID 12345678 生年月日 1970年(昭和45年)12月31日		 コウツノ モリコ 公津野 杜子 48才 女		身長 154cm (2018/3/2) 体重 55kg (2018/3/2) 血液型 A型 Rh+	
医師カルテ			看護師カルテ		
2018/04/12 SOAP 外来 13:05 救急科 医師 国際 福男 救急科 S 昼食摂取後より腹痛、嘔気と全身に発疹と痒痒感が出現。海老アレルギー。ピラシアに海老が入っていたかも。 O 13:05 ウォークイン。 顔面紅潮(+), E3 V5 M6, BP 86/48, HR 120, RR 26 6Lリザーバー付きマスクでSpO ₂ 98%, BT 36.9°C 末梢冷感(+), 気道狭窄(+), 粘痰浮腫(+), 腹部圧痛(+), 肺音クリア。頸部、腹部、同上下肢に蕁麻疹あり。 A アナフィラキシー疑い。 P モニタリング、麻薬投与、細胞外液2L全量投与、ボスミン0.5mg筋注、ソルコテラ500mg静注、ボララミン5mg静注、ガスター10mg静注。			2018/04/12 経時記録 外来 13:05 救急科 看護師 福祉 国子 救急科 救急外来へ夫とウォークイン。昼食摂取15分後より嘔気、全身に蕁麻疹が出現したため来院。海老アレルギーあり昼食に混入していた可能性あり。速やかに処置室で診察開始。		
2018/04/12 SOAP 外来 14:30 救急科 医師 国際 福男 救急科 S 腹痛と嘔気はおさまりました。 O E4 V5 M6, BP 110/60, HR 92, RR 12, SpO ₂ 98% (ルームエア)。BT 37.0°C。蕁麻疹消失。 A 食物によるアナフィラキシーの診断。遅発性反応に注意。24時間経過観察。 P 入院加療(抗ヒスタミン、ステロイド投与)			2018/04/12 経時記録 外来 13:30 救急科 看護師 福祉 国子 救急科 血圧低値、頻脈。バイタルサイン詳細は経過表参照。食物によるアナフィラキシーの疑いで治療開始。医師の指示の下、麻薬投与、20Gで同上肢にルート確保、薬剤投与。 2018/04/12 経時記録 外来 14:00 救急科 看護師 福祉 国子 救急科 【今回症状、入院について】 S) 海老が混入していたのかも。今回のようなひどい症状は初めてなので、今後の生活が不安です。本当は仕事か心配なので帰りたいけど、今日は先生の言う通り大入り入院します。 O) 表情やや緊張気味。		

図1 電子カルテ

作成した教材は、実際に国内の看護系大学において2018年度から使用している。同時に模範的な実習記録における語彙や表現の分析(山元・加藤 2020, 山元・浅川 2021等)を行い、適宜、その知見も追加していった。

なお、執筆の過程についての詳細は、第4課を例に、加藤ほか(2019)で示した。ただし、加藤ほか(2019)では、当初の教材について述べており、本稿で紹介しているものとは構成が異なることに留意されたい。

3.1 各課の構成

各課は原則として以下のような構成になっている。本節では、第4課「患者情報の記録」を例に示す。

- ① 改善点が含まれる記入例
- ② 解説
- ③ 手本となる記入例・課題

まず、①「改善点が含まれる記入例」(図2)では、看護教員の作成した手本を、3名で協議の上、いくつかの問題点を含むものを提示している。学習者は、これを見て、どのよう

に直したら良いのかを主体的に考える。

図2では、「患者(イニシャル)、年齢、性別、身長、体重」の箇所が、示された項目とは異なる順番で記載されていること、「現病歴」では、専門用語の不使用や、専門用語としては助詞を入れない箇所に助詞が入っていることなどの問題が存在する。また、「生活背景」や「日常生活習慣」も、箇条書きで記入することが望ましい。これらについて、学習者に考えてもらい、ある程度、問題点が把握できたところで、②「解説」に進む。

②では、図3のように、誤りについての解説が加えられる。解説では、まず、何が問題であるのかを端的な文章で示している。さらに、問題点を含む部分を提示して、どのように直したら良いかを示している。ここでは、助詞を省いたり、和語よりも漢語を使ったりすることなどを説明している。より詳しい説明が必要な場合、コラムも追加しており、学習者のレベルに応じて適宜参照できるようにしている。

必要に応じて、練習問題(図3)も付けた。

看護師を目指す留学生のためのライティング教材の開発とその活用 (山元ほか)

第4課 患者情報を記録する

2ページ

よりよい患者情報シートにするために

以下の施設情報は学生が作成したものです。直した方がいい箇所がいくつかあります。まずは、ペアやグループで話し合ってみましょう。

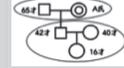
患者情報整理シート

学類番号 学生氏名

患者 (イニシャル)	
年齢、性別、身長、体重	女性、55kg、A氏、156cm、60代
病名/診断名	虫垂の炎症
現病歴 (入院目的、治療方針)	○月×日21:00、右の下腹部が痛いことに気がつき、近くにある病院の救急の外来を受診した。検査の結果、虫垂の炎症と診断された。自覚している症状が軽く、汎発性の腹膜炎の炎症がなく、全身の状態が良好であったため保存的な治療の目的で緊急の入院となった。
治療方針	絶食、抗生剤投与
投与薬剤	・輸液の投与：2000mlの○×△を1日に投与する。 ・抗生剤の投与：□△○を7時、15時、23時に1日に3回投与する。 ・疼痛時の投与：△×を3回まで1日に6時間空けて投与できる。
既往歴・薬剤歴	45歳の時に高血圧を指摘され、以降□×△を1日1回内服中。 薬剤や食物のアレルギーなし。
受け止め	「自分が首領になるなんて驚きました。初めての入院で不安ですが、先生や看護士さんにお任せしたいと思います。」 ・驚き ・不安 (入院) ・お任せしたい

第4課 患者情報を記録する

3ページ

家族構成 ジェノグラム キーパーソン	
生活背景 (職業、趣味、経済、性格等)	「自分の性格ですか? 別と前向きだと思いますよ。ボランティアだったり、パートもしているし。どちらも週2回ぐらいですけれど、まあ、夫も働いているから、べつに生活が苦しいわけじゃないんですけど、夫も平日は仕事で家にはいないし、どうせなら、って。だから、月、水はボランティアで、火、金はパート。クリニックの受付なんです。それから、木曜は絵の教室にも通ってらるんで。ただの趣味なんですけどね。週末には夫とよく近くに旅行に行くので、その時に、と思って。だから、絵と旅行が趣味ですね。」
日常生活習慣 (食事、運動、喫煙、飲酒、排泄、睡眠、ADL等)	「別に生活で困っていることはないんですけどねえ。夜はよく眠れているし、ちゃんとご飯も1日3回食べてるし。夫も晩ご飯は家で食べるから、ほとんど私が作ってますね。家事はほとんど私なんです。まあ、夫も単身赴任していたから、できることはしてるんですけどね。夫の散歩も、私が朝行ってるんです。30分ぐらいですかね。今のところ、お風呂もトイレも自分で何でもできるから、もっと年を取って動けなくなったら、夫にやってもらおうかな、って。トイレは、そうですねえ、1日5回ぐらいですかね。夜はぐっすり寝ますけど、あ、でも、お通じの方はちょっと便秘気味で。だいたい、3日に1回ぐらいですねえ。たばこですか? いいえ、一度も。お酒もあまり飲まないですねえ。機会があれば、ビール一杯ぐらいは。」

気付いたところメモ

図2 問題点を含む患者情報シート

第4課 患者情報を記録する

6ページ

2. 専門用語を使ったり助詞を省いて、シンプルに書こう

病名/診断名	虫垂の炎症
現病歴 (入院目的、治療方針)	○月×日21:00、右の下腹部が痛いことに気がつき、近くにある病院の救急の外来を受診した。検査の結果、虫垂の炎症と診断された。自覚している症状が軽く、汎発性の腹膜炎の炎症がなく、全身の状態が良好であったため保存的な治療の目的で緊急の入院となった。

「行動計画」と同じように、「患者情報シート」でも、**シンプルに分かりやすく書きましよう**。実習記録では、「虫垂の炎症」「痛いこと」などは、「虫垂炎」「疼痛」などの専門用語で書かれます。また、「右の下腹部」「自覚している症状」は、「右下腹部」「自覚症状」のように、助詞や連体修飾がない形をよく使います。「全身の状態」「保存的な治療の目的」「緊急の入院」なども助詞を省略します。「気がつく」「軽く」などの動詞や形容詞は、できるだけ漢語(音読みをする言葉)に置き換えましょう。改題例①と比べてみましょう。「近医」など、日常ではあまり使わないことばも使うことがあります。

病名/診断名	虫垂炎
現病歴 (入院目的、治療方針)	○月×日21:00、右下腹部の疼痛を自覚し、近医の救急外来を受診した。検査の結果、虫垂炎と診断された。自覚症状が軽度で汎発性腹膜炎がなく、全身状態が良好であったため保存的な治療目的で緊急入院となった。

第4課 患者情報を記録する

7ページ

練習1 助詞を省いたり、専門用語を使って、「現病歴」を書き換えてみましょう。

(1) 看護師国家試験 第106回 午前 第51問 を一部改変

現病歴 (入院目的、治療方針)	3日前から微熱と全身が強く熱いことに気付いたため、病院を受診したところ、肝臓の機能の障害が分かり、急性の肝炎の診断で入院した。1か月前に生のかきを食べている。Aさんはこれまで肝臓に異常を指摘されたことはなく、家族で肝臓の病気にかった人はいない。
現病歴 (入院目的、治療方針)	

(2) 看護師国家試験 第106回 午前 第80問 を一部改変

現病歴 (入院目的、治療方針)	左上の腕骨の頸上骨折と診断され、牽引治療のために入院した。医師からAちゃんと家族に対し、牽引と安静にして構いなる必要性を説明した後、弾性のある包帯を使って左の上肢の介連牽引を開始する。
現病歴 (入院目的、治療方針)	

図3 説明と練習問題

第4課 患者情報を記録する

12ページ

改善されたものを読んでみよう

患者情報整理シート	
学類番号 _____ 学生氏名 _____	
患者 (イニシャル)	A氏、60代、女性、156cm、55kg
年齢、性別、身長、体重	
病名/診断名	虫垂炎
現病歴 (入院目的、治療方針)	○月×日21:00、右下腹部の疼痛を自覚し、近医の救急外来を受診した。検査の結果、虫垂炎と診断された。自覚症状が軽度で汎発性腹膜炎がなく、全身状態が良好であったため保存的治療目的で緊急入院となった。
治療方針	絶食、抗生剤投与
投与薬剤	・ 輸液：○×△を1日2000ml投与 ・ 抗生剤：□◇○を1日3回投与(7時、15時、23時) ・ 疼痛時：△○×を1日3回まで、6時間空けて投与可
既往歴・薬剤歴	45歳の時に高血圧を指摘され、以降□×△を1日1回内服守。 薬剤や食物のアレルギーなし。

第4課 患者情報を記録する

13ページ

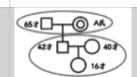
受け止め	「自分が盲腸になるなんて驚きました。初めての入院で不安ですが、先生や看護師さんにお任せしたいと思います。」
家族構成 ジェノグラム キーパーソン	 <p>キーパーソン： 夫。平日9時から18時は仕事のため、連絡が取れないときは近所に住んでいる長男(自営業)または長男の妻へ連絡する。</p>
生活背景 (職業、趣味、経済、性格等)	・ 週2日(月、水)地域のボランティア活動に参加 ・ 週2日(火、金)パートをしている(クリニック受付) ・ 趣味は絵画教室(毎週木曜日)と週末の夫との旅行 ・ 夫婦で仕事をしているため、経済状況は安定している ・ 自身の性格について「前向き」と話す
日常生活習慣 (食事、運動、喫煙、飲酒、排泄、睡眠、ADL等)	・ ADL自立 ・ 家事は主にA氏が行っているが夫も単身赴任の経験があるため、家事を行える。 ・ 犬の散歩のために毎朝30分ほど歩いている。 ・ 1日3食摂取。外食はほとんどしない。 ・ 喫煙歴なし。飲酒は機会があればビール1杯程度。 ・ 排尿：日中5回、夜間0回。 ・ 便秘気味(3日に1回排便あり) ・ 夜間はよく眠れている。

図4 模範記入例

患者プロフィール

患者ID 12345678

コウソウ モリコ

公津野 社子 48才 女

生年月日 1970年(昭和45年)12月31日

血液型 A型 Rh+

身長 154cm (2018/4/12) 体重 55kg (2018/4/12)

感染症 (-) (2018/4/12) 腫瘍検査 3割

住所 千葉県成田市公津の社4-6

電話番号 0478-20-701 (自宅)

緊急連絡先

① 公津野 茂夫 090-0000-0000 夫

② 公津野 社子 090-1111-1111 長男

現病歴

2018年4月12日 アナフィラキシーショック

既往歴

1978年 8歳 右上頰骨骨折(保存的治療)

1991年 20歳 虫垂炎(手術)

2010年 40歳 高血圧

かかりつけ医

コクワク病院 代表 33-3333-3333

千葉県成田市公津の社4丁目0番地

入院歴

有り 1998年 26歳 虫垂炎

手術歴

有り 1996年 26歳 虫垂炎

輸血歴

無し

常用薬

アムロジピン錠 5mg

患者ID 12345678 生年月日 1970年(昭和45年)12月31日

身長 154cm (2018/3/2) 体重 55kg (2018/3/2) 血液型 A型 Rh+

コウソウ モリコ
公津野 社子 48才 女

医師カルテ	看護師カルテ
<p>2018/04/12 30AP 1330S 救急科 医師 関藤 雅男 外兼 救急科</p> <p>① 症状発症後より腹痛、嘔吐と全身に発赤と痒疹感が出現。発熱アレルギートン、ピロリに検査がとっていたため。</p> <p>② 13:05 ウォーキング。継続時間1:23 14:36 56.8P 56.4 4.8 HR 120, RR 20 6リリ(サークル)呼吸マウスで0.0, 98%, ST 16.6 1.2</p> <p>実施内容： 緊急処置終了、医師診察終了、腫瘍検査、肺炎ウリア、腫瘍、尿試、尿上清中に細菌培養あり。</p> <p>A アナフィラキシー疑い。</p> <p>P モニタリング、腫瘍検査、継続時間1:23 14:36 56.8P 56.4 4.8 HR 120, RR 20 6リリ(サークル)呼吸マウスで0.0, 98%, ST 16.6 1.2</p> <p>0.5mg経口。ソルココープ300mg(静注、ネトラミン5mg静注、ガスラニ10mg静注)。</p>	<p>2018/04/12 1330S 救急科 看護師 藤花 園子 外兼 救急科</p> <p>患者の身元とウォーキング。経口摂取15分後より嘔吐。多量に嘔吐が出現したため、患者のシムラーを鼻先に差し込んで吐き止めに成功。直ちに救急室で診察開始。</p>
<p>2018/04/12 30AP 1330S 救急科 医師 関藤 雅男 外兼 救急科</p> <p>① 嘔吐と発赤おさまりました。</p>	<p>2018/04/12 1330S 救急科 看護師 藤花 園子 外兼 救急科</p> <p>血圧変動、脈拍、バイタルサイン継続は経過観察。食物によるアナフィラキシーの疑いで治療開始。医師の指示の下、観察開始。20分経過し症状軽減。</p>
<p>2018/04/12 30AP 1400S 救急科 医師 関藤 雅男 外兼 救急科</p> <p>① 4 5 56.8P 56.4 4.8 HR 120, RR 12 56.0, 98% (ルムニター)。BT 37.0℃。腫瘍検査なし。</p> <p>A 食物によるアナフィラキシーの診断。速発性反応に注意。24時間経過観察。</p> <p>P 入院継続(既にスタンバイ中)。</p>	<p>2018/04/12 1400S 救急科 看護師 藤花 園子 外兼 救急科</p> <p>【今現状、入院について】 ① 患者が回復しているため。今後のようなひどい症状は即座で対応。今後の経過が不安です。本日は患者が心配の軽減が目的です。今日退院先生の送り迎えも入院します。 ② 食物やアレルギー検査。</p>

自分 公津野さん、失礼します。お昼ご飯は全部召し上がられましたか？

患者 はい、もうすっかり元気です。ベロリとたいらげました。

自分 それは良かったですね。昨日は大変でしたね。

患者 そうだね。びくびくしちゃった。普段、食べ物には気を付けているんだけど、急に入院なんかすることになったのも、虫に咬まれたことと、仕事に気がなるから、本当は早く帰りたいのよね。

自分 お仕事されてるんですね。お仕事は何をなさっているんですか？

患者 子どもの大学の学費もまだ払わなきゃいけないし、家のローンも残ってるからね。家でお料理教室を開いています。ほら、自分に食物アレルギーがあるんです？あ、高血圧を指摘されてショックで、食生活を変えなきゃとって、管理栄養士と調理師免許をとったよ。食物アレルギーを持つ人でも楽しめるメニューを教えるの。

自分 お子さんいらっしゃるんですね。あなた、お料理の先生をなさっているんですね。遅いかもしれないけど大丈夫ですか？

患者 大学生の息子が今年一人暮らしを始めたから、もともと食べることとお料理は趣味だし、おうちでお料理教室始めたのよ。仕事は、月水金の週3日、勤務の3時間だけね。食材にはお庭で育てた有機野菜やハーブを使っているんですよ。

自分 ガーディングもされているんですね！やはり管理栄養士の資格も持っているんですね。食材やお食事そのものには気を付けていますか？

患者 そうだね。高血圧を指摘されてショックで、食生活を変えなきゃとって、管理栄養士と調理師免許をとったよ。食物アレルギーを持つ人でも楽しめるメニューを教えるの。

自分 ガーディングもされているんですね！やはり管理栄養士の資格も持っているんですね。食材やお食事そのものには気を付けていますか？

患者 そうだね。高血圧を指摘されてショックで、食生活を変えなきゃとって、管理栄養士と調理師免許をとったよ。食物アレルギーを持つ人でも楽しめるメニューを教えるの。

自分 他に何か健康のために普段意識していることありますか？

患者 意識していること・・・そうねえ・・・何かしら・・・

自分 例えば、運動はされていますか？

患者 毎朝、ウォーキングを夫と1時間行っています。あの人、メタボ予備軍だから。

自分 毎朝行っているんですね？

患者 もう寝て5分目になりまます。最初は毎朝一緒に歩いてたんだけど、足痛がでてきちゃって。母のことも心配だから、早く退院したいわ。今日は何時に主治医の先生は来るのかしら？

自分 お話聞かせていただきありがとうございます。確認させていただきますね。

アレルギー

薬	無し
造影剤	無し
食べ物	カニ、エビ、ナッツ類
その他	スギ花粉、猫

喫煙	10年間(20~26歳)	喫煙量	1箱/日	運動機能	運動障害なし、ADL自立	
飲酒	場合に応じて	ワイン	1杯	職業	監査検査室長	
排洩	排便回数	5~6回/日		視覚	眼鏡近視 眼鏡使用	
	便回回数	1回/日	便性状	軟~普通	睡眠	7時間(6時起床、23時就寝)

特記事項

- ・ 母親と同居
- ・ 週1回 パート
- ・ 息子(大学生)： 妻内一人で暮らし

家族図(ジェノグラム)



キーパーソン

図5 患者情報整理シート記入のための参考資料

書いたものを読みあおう

ペアまたは3名のグループになり、お互いの書いた文章を読み合せて、コメントしてください。
コメントは、以下の表に記入してもらいましょう。

チェック項目	評価者：	評価者：
必要な情報が書かれているか。	A B C D コメント：	A B C D コメント：
不要な情報が含まれている項目はないか。	A B C D コメント：	A B C D コメント：
1文にたくさんの情報が入っていないか。	A B C D コメント：	A B C D コメント：
1文が、動作を表す名詞や、辞書形の動詞で終わっているか。	A B C D コメント：	A B C D コメント：
専門用語を使ってシンプルに書かれているか。	A B C D コメント：	A B C D コメント：
誤字脱字はないか	A B C D コメント：	A B C D コメント：
その他気付いたこと		

図6 フィードバックシート

ここでは、看護師国家試験の問題を改変したものを使用している。助詞の「の」を省いたり（例：「肝臓の機能の障害」→「肝機能障害」）、漢語に置き換えたり（例：「全身が強く怠いこと」→「全身の倦怠感」）して、よりシンプルで専門的に見える書き方を練習する。

実際の授業では、説明後に練習問題を解いてもらい、スクリーンに学生の書いた物を映しながらフィードバックを行った。

各部のまとめとなる③「手本となる記入例・課題」では、②での説明を反映した模範的な記入例（図4）を示した。学生はこれを参考にしながら、実際に自分で記入してみる。第4課では、看護学科教員が作成した架空の患者の「患者プロフィール」、「電子カルテ」、「実習生との会話の SCRIPT」(図5)を見て、そこに書かれている情報をまとめ、記入する。

同じ授業を履修している学生が複数いる場

合、学生同士でフィードバックしあう活動を取り入れた。お互いが記入したものを交換し、図6のようなフィードバックシートを用いて、評価し、気になったことはコメントし合うようにした。フィードバックシートの評価項目は、誤字脱字に関するものを除き、各々の課で着目した点に関するものとした。

学生同士のフィードバック後は、各自、修正し担当教員に提出する。提出されたシートは、教員による誤用などのチェックと、②の内容が反映されているかのチェックを行い、翌週の授業で返却した。誤用などについては、教員が重要だと考えるものについて、翌週の授業で、履修者全員に対して説明をした。

文法の誤用や語彙の選択ミスに加え、中国語母語話者の学生については、簡体字の使用などの問題も見られた。

4. 想定される使用法

本テキストは、看護系大学や専門学校の1

年次のうちに使用することを想定しているが、基礎的な実習が終わったあとに使用することも可能である。各課は、順を追って使用することを想定しているが、それぞれの課は独立しているため、必要に応じて取捨選択しても特に問題はない。日本語の能力については、他のアカデミック・ライティングのテキスト（アカデミック・ジャパニーズ研究会2015、小森・三井2016等）などと同様に、上級以上の学生を想定している。看護を学ぶ留学生は1年生のうちから日本語で専門教育を受けると考えられるため、相応の日本語の能力をもって入学することが予想されるからである。

授業で使用することが望ましいが、十分な解説を加えているため、学習者が自習用に用いることも可能だと考えられる。また、専門科目の授業において、補助教材として使用することもできると思われる。

授業で教科書として使用する場合、以下のような使用を想定している。①では、悪い例を見て直した方がよいところがどこかを考えさせ、問題点を認識させる。②では、テキストの解説に沿って詳しく説明し、学習者のレベルに応じて文法的なことや、語彙の情報も付け加える。また、各ポイントに関するシンプルな練習問題を解き、十分なフィードバックを行うことも必要である。③では、様式への記入を行う。これも最終的には授業担当者のフィードバックを前提としている。なお、本テキストは専門教育を補うことを想定しているので、看護教育的な観点でのフィードバックは必ずしもしなくてよいが、基本的な知識を持っていると、効果的な教育を行いやすいと考えられる。使用時には、学生に十分な看護の知識があるとは限らない。そのため、教材作成にあたって得た看護の知識が、本教材を使った授業にも役立った。

5. 今後の課題と展望

本稿で紹介した教材は、筆者らが教材作成時に所属していた大学にて使用することを前提としていたため、この教材に汎用性があるかの確認を十分にはしていない。今後は、看護学部を有する大学への調査を実施し、大学横断的な課題を整理し、留学生が在籍する大学・専門学校等で活用できる教材としたい。

教材を使用した授業の履修学生や学部教員への聞き取りから判断すると概ね好評であると考えられる。一方、実際に実習に参加した際に本教材が役に立ったかどうかは確認ができていない。これについては、実習を終えた学生へのインタビューが必要であると考えている。

さらに、実習を終え、卒業した後、看護師として活躍する際にも、看護記録などを書く必要がある。その際に、本教材で学習したことが役に立ったのかどうかも検証していく必要がある。これについては、実務についている元留学生に対するインタビューを行ってみたいと考えている。

本稿執筆時点までに、実習記録に使われる語彙の調査（山元・浅川2021）、表現の調査（山元ほか2020）などを行っている。これらの知見は、可能な限り反映させているが、いまだ十分とはいえない。今後も、実習記録の言語面での調査を進め、改良を重ねていきたいと考えている。

注

- 1) 2018年9月26日に以下の手順にて検索した結果である。「日本留学学校情報（大学院・大学学部・短期大学）【検索】」(https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/search/daigakukensaku.html)にアクセスし、「学校検索（大学院・大学学部・短期大学）」をダウンロードした。「課程名②」に「看護」を含み、かつ「在籍区分」が「大学学部」であるもののみ抽出した。

2) 2018年5月18日に以下の手順で行った。「国立国会図書館サーチ」(<https://iss.ndl.go.jp/>)の詳細検索を使用し、タイトル欄に「看護 記録」と入力し検索、その後「看護 ライティング」と入力し検索した。またそれぞれ、出版年を2008年～2017年の10年間に限定した。データベース欄では、「国立国会図書館オンライン」および「公共図書館蔵書」のみをチェックした。資料種別欄では、「本」をチェックした。所蔵館は「国立国会図書館」および「他機関」とした。

付記

本論文は「2018年度日本語教育学会秋季大会」における発表（山元一晃・加藤林太郎「看護師を目指す留学生のための実習に即したライティング教材の開発」）の内容を含んでいる。

謝辞

本研究は JSPS 科研費 JP19K00744 の助成を受けたものです。

参考文献

アカデミック・ジャパニーズ研究会（2015）『改訂版 大学・大学院 留学生の日本語 論文作成編④』アルク。
石川ふみよ（2017）『実習記録・看護計画の解体新書』学研メディカル秀潤社。
江川隆子・笠岡和子（2014）『かみくだき看護診断過程：関連図でよくわかる病態・看護診断・看護記録』日総研出版。
海外産業人材育成協会（2011）『専門日本語入門 場面から学ぶ看護の日本語 【本冊】』凡人社。
加藤林太郎・浅川翔子・山元一晃（2021）「看護教員へのインタビューからみる看護留学生の学びにおける困難とは－看護留学生向けライティング教材開発を念頭に－」『日本国際看護学会

誌』4(2), pp. 23-34.

加藤林太郎・山元一晃・浅川翔子（2019）「『状況』から出発する日本語教育 実践報告：看護系留学生のためのライティング教材開発－電子カルテ等からの情報収集による課題遂行を中心に－」『早稲田日本語教育学』27, pp.31-35.

国際厚生事業団（2013）『EPA 看護師に関する調査事業報告書』<<https://jicwels.or.jp/files/E69CACE69687.pdf>>（2021年5月20日）

小森万里・三井久美子（2016）『ここがポイント！レポート・論文を書くための日本語文法』くろしお出版。

高谷修（2017）『看護学生のためのレポート・論文の書き方：正しく学ぼう「書く基本」「文章の組み立て』』金芳堂。

日本私立看護系大学協会（2019）『「看護系大学に関する実態調査」2018年度状況調査』<<https://www.jspcun.or.jp/wp/wp-content/uploads/2021/03/7244def413aa5ac4c2552346fb3d880b.pdf>>（2021年5月20日）

任和子（2015）『領域別看護過程展開ガイド：ヘンダーソン ゴードン NANDA-I オレム ロイ』照林社。

林琳（2018）「看護記録語彙の使用実態と特徴分析－看護師国家試験語彙・日本語能力試験語彙との比較を中心に」『日本語／日本語教育研究』9, pp. 237-244.

山元一晃・浅川翔子（2021）「看護実習記録に用いられる語彙の特徴の分析」『社会言語科学』22(2), pp.67-80.

山元一晃・浅川翔子・加藤林太郎（2020）「短単位 n-gram を用いた看護実習記録の「情報収集」から「アセスメント」への展開における表現の分析」『第44回社会言語科学会研究大会』pp. 174-177.

山元一晃・加藤林太郎（2019）「看護の実習記録の表現の分析－留学生への支援のために－」『2019年度日本語教育学会秋季大会予稿集』pp. 259-264.